

人の和を香りで包む腰当森（鎮守の森）～つなぐ場づくりで、つながる～

南城市は那覇市を東に15kmほどの位置にあり、平成18年に四町村が合併してできた、のどかな田園都市。商工会・行政・市民が協働のもと観光協会が主催して、**年2回オープンガーデンを開催**するなど、みどりのまちづくりが盛んです。津波古区が所在する旧佐敷町域は**全町植物園化構想**を掲げていた歴史もあり、特に緑化に熱心な地域で、今回の植栽場所近くの民家も数件オープンガーデンに参加しています。

今回植栽場所を選定した津波古児童公園は、屏風と比喻される丘陵地帯と住宅街との境目の、海を見下ろせる位置にあります。隣地には歯科と眼科クリニック、道向かいには海外からも稽古に訪れる空手道場があります。

また、200m圏内に公民館、保育園、有料老人ホーム、400m先に小学校も所在し、通学路となっています。さらに、目の前の県道は、西日本屈指の規模である尚巴志ハーフマラソンのコースとなっています。

公園内には土地の神・農業の神を祭った土帝君や大戦の慰霊碑が所在し、豊年祭において伝統芸能が披露された広場もあり、**集落の腰当森(※1)**ともなっており、みどり香る場づくりを通じて、集落内外の住民がよりそいつながる場としたいと考えています。

※1腰当（クサティ）森：クサティとは、信頼し、寄り添い身をまかすという意。家や村は寒い北風を防ぐ丘や山をクサティ（腰当）にして南面する立地が良いとされ、その丘や山をクサティ森という。また、沖縄古来の信仰上の観点から集落内の御嶽をクサティ森とする集落もあった。「風景結々～沖縄らしい風景づくりポータルサイト～」より



白黒写真は沖縄県立公文書館、カラー写真は南城市のホームページより

1960年代の土帝君前広場と現在の土帝君広場での伝統芸能の演舞の様子

島 一 歳 時 記 より	瀬 底 月 城 著 奄 美 南	津 波 古 の 俳 人	建 素 つ 慰 霊 の 碑 に	矯 め て り の 花 月 橘 は	ぎ 目 に 辨 こ ぼ す の つ
-----------------------------	--------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	---	---

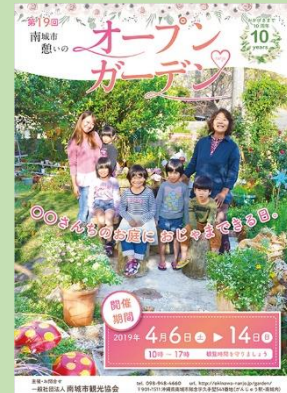


集落の祭祀の場である土帝君や慰霊の塔が在する児童公園を中心に、オープンガーデン等の既存のイベントと連携した植栽イベントを行い、集落内外のつながりを築いて和を広げ、**癒しや学びを得られる拠点**とします。

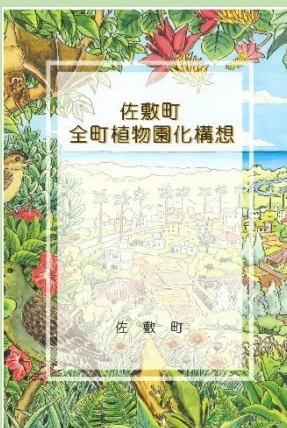
また、字公民館施設の機能や地元住民の持つ知の活用により、**香り植物を通じた社会教育や環境教育、文化振興・交流を継続的に**行える場とします。

加えて、植栽プレートにQRコードを付し、学びの入り口となる環境もつくりま

す。
・1564世帯3,788人の人口を擁する市内最大の自治会（令和元年7月末現在）で、この10年で共同住宅を中心に約800名の人口増加。**みんなの庭として機能**させる。



南城市観光協会「南城市癒いのオープンガーデン」ホームページより



〈企画の狙いとアピールポイント〉

①地域住民や観光客みんなの庭としてのみどり香る場に

- ・共同住宅を中心に人口が増加し続けており、**庭をもたない人でも憩える場所として機能**させる。
- ・南城市型エコミュージアムのサテライトとなっており、琉球国時代からの文化財が多く所在。2018年に区民らの手によって観光コースも作成された。

区内外・世代などの属性問わず、訪れる人が香りを始めとした五感を通して自然とつながる場を創出する。

②様々な機能を持つ字公民館などの地域資源を活用

③多彩・多様なみどりかおる場×○○を展開

- ・字公民館施設（植栽場所近接し、住民交流、社会教育や文化保存・発信機能を持つ）との連携。ヨガサークルや4つの伝統芸能保存会の稽古場所ともなっている。健康講演会などの各種講座やウォーキングやマラソン大会も開催。公民館とみどり香る場という2つの公共空間を相互に活用した活動を行う。

例) みどり香る場を基点・経由地として、健康づくりイベントを開催。

- ・**地域の俳人の遺した歳時記**（花の香る時期や植物にまつわる俳句や琉歌を収録。）など**地域の文化資源の活用・連携**

例) 句会やスケッチ、SNSでの拡散も期待してフォトコンテストなどを行う。

＜事業の内容としくみ＞

植栽×イベント

I 防災訓練時に植栽（住民向け）

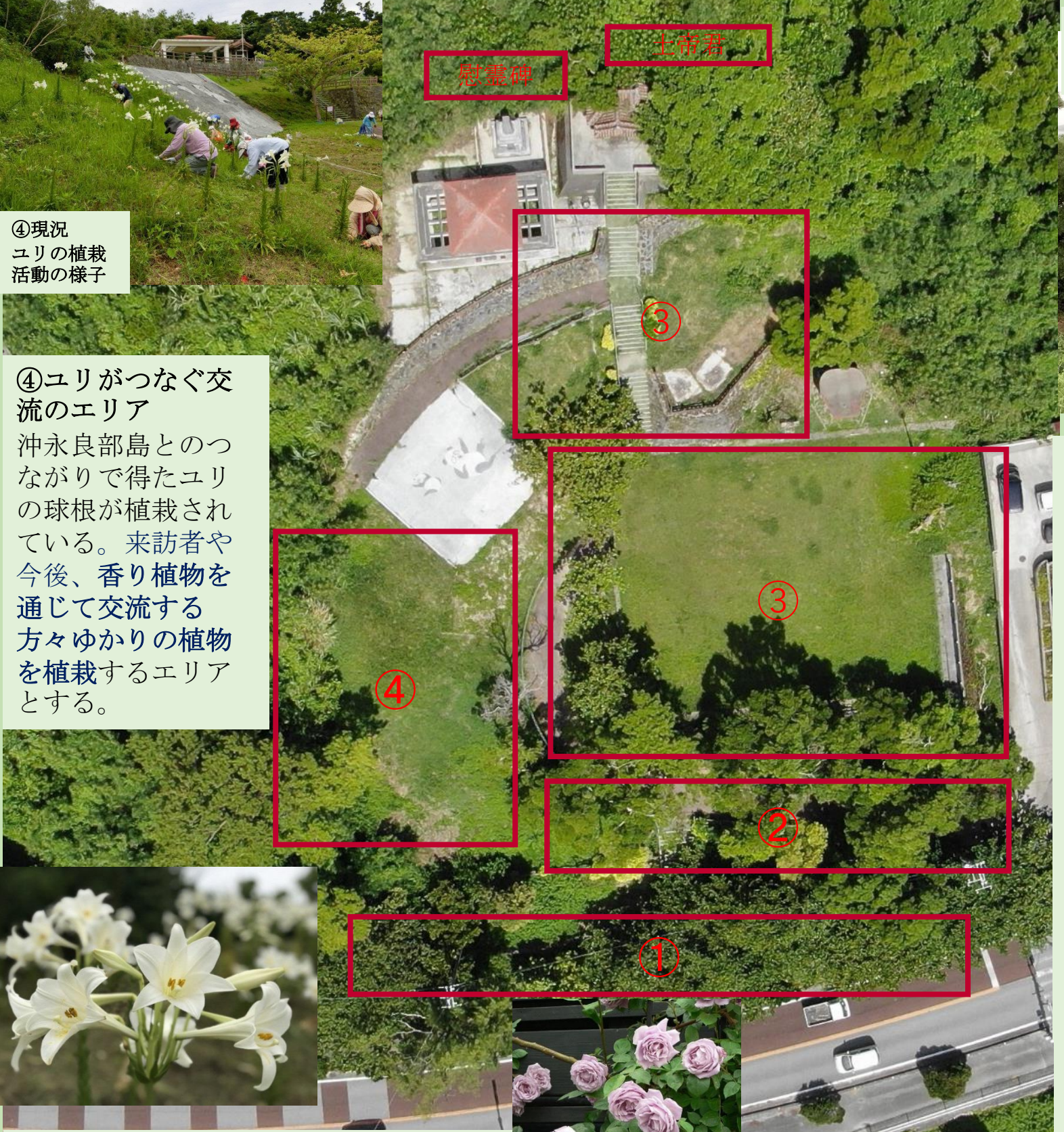
- ・過去に防災訓練時に同地で植栽活動を行ったことがあり、イベントと連動させることで、幅広い参加を募る。

II 「南城市癒いのオープンガーデン」期間中に植栽企画を行う。

植栽場所の近隣にも数件オープンガーデンに参加している民家があることから、区外からの参加も多く見込まれる。

- ・「つはこ花咲かす会」と自治会を中心にイベントと掛け合わせながら、多くの地域住民を巻き込んだ維持管理を行う。
- ・植栽プレートにQRコードを付すことにより、芳香時期や植物にまつわるエピソード、植栽場所を活用したイベント情報に気軽にアクセスできる仕組みを構築する。すでに開設されている区のSNSアカウントとホームページも活用する。





④現況
ユリの植栽
活動の様子

④ユリがつなぐ交
流のエリア
沖永良部島とのつ
ながりで得たユリ
の球根が植栽され
ている。来訪者や
今後、香り植物を
通じて交流する
方々ゆかりの植物
を植栽するエリア
とする。



①ハーバル&フローラルのエリア
県道歩道沿い公園東側入り口。歩道そばに数
段の花壇がある。
・つはこ花咲かす会により、小学校までの約
400Mに渡りカンナが既に植栽されているエ
リア。
〈新規植栽内容〉
・ローズマリー、マジョラムスイート、レモ
ングラスなどのハーブ
・バラ、アマリリス（芳香のある種）、カモ
ミールなどの花々



①現況
カンナの
植栽活動



③現況
土帝君より馬天港
を臨む

③自然とつながってきた沖縄のくらしを知るエリア
・沖縄の伝統的な屋敷林で親しまれる植栽をモデルとする。
・また、土帝君への階段を登っていくにしたがい、山野への招待口として、極相林を形成する樹木を配する。旧町花として親しまれ、地域の先輩方がおやつ代わりにしていたというテンニンカなど、山野と人とのつながりを思い出させ、他世代でストーリーを共有できるエリアとする。
〈新規植栽内容〉
テンニンカ（旧佐敷町の花；花・果実に香り）、クチナシ（南城市の花）、クロツグなどの香り植物を中心に。加えてブッソウゲを植栽し、極力、芳香のある種を選定する。

その他
各エリアの香りや配置のバランスをみながら、ファイリソシンカやシャリンバイ、ヤコウボクを植栽する。



②現況

完成イメージ



ヤコウボク



クチナシ



テンニンカ



クロツグ

写真出典
・沖縄県環境部環境再生課
ホームページ「おきなわ 緑と花のひろば」
ハイビスカス
クチナシ
ヤコウボク
佐敷町町政要覧（2001年）
テンニンカ
・一般社団法人 日本植木協会
バラ

②琉球シトラスの香るエリア
・公園北側入り口から広場までつながるスロー
プ道。
坂道沿い斜面にシークワサー、ゲッキツ、
オートーなど南島のかんきつ類（方言で九年
母；クニブ）を配置する。爽やかな香りに誘わ
れるみどり香る場への入り口。
私たちの佐敷津波古に所在する馬天港は琉
球統一前に貿易港として栄えた。かんきつ類は
現在では沖縄島北部で栽培が盛んだが、一説に
はまずこの佐敷に中国福州より伝わったとのこ
と。古くは佐敷クニブとも称されたい。
その他、サルカケミカン、アワダンを植栽。